

ブリッツファイヤー放水銃 取り扱い説明書

項目

1. 概要
2. 特長
3. 仕様
4. 構造及び機能
5. 使用方法
6. 注意事項
7. 追記

1. 概要

この機種は可搬式消火機器として開発され、放水方向に固定した後は無人でも安定した放水を続けることができます。

又、脚は折りたたみ式であり、大変コンパクトなデザインですので持ち運びに非常に便利な放水銃です。

そして万一の場合、手動又は自動で放水・緊急制御でき、消防士の安全をしっかりと守ります。

2. 特長

- 1) 可動部はボールジョイント方式で、流体抵抗は最小限に抑えられています。
- 2) 万一、放水銃が転倒もしくは振られた場合、緊急制御弁が働き放水を制御します。
- 3) 可動部はストッパー無しで安定した放水ができます。
- 4) 材質はアルミニウム合金（耐食表面処理）で軽量、コンパクトです。

3. 仕様

- 1) 名称：ブリッツファイヤー放水銃
- 2) 型式：Z M - 2 1/2（標準モデル）
Z M - 2 1/2・OS（自動首振りモデル）
- 3) 俯仰角度：+10° ~ +50°
- 4) 旋回角度：左右各 20°
- 5) 質量：約 12 kg（標準モデル）、約 15kg（自動首振りモデル）
- 6) ホース接続口：65 差込式受け金具（JIS B9911）
- 7) ノズル接続口：65 米ネジオス金具（2.5 - 7.5NH）

4. 構造及び機能

1) 構造

ブリッツファイヤー放水銃は図 1 に示す様に構成されています。

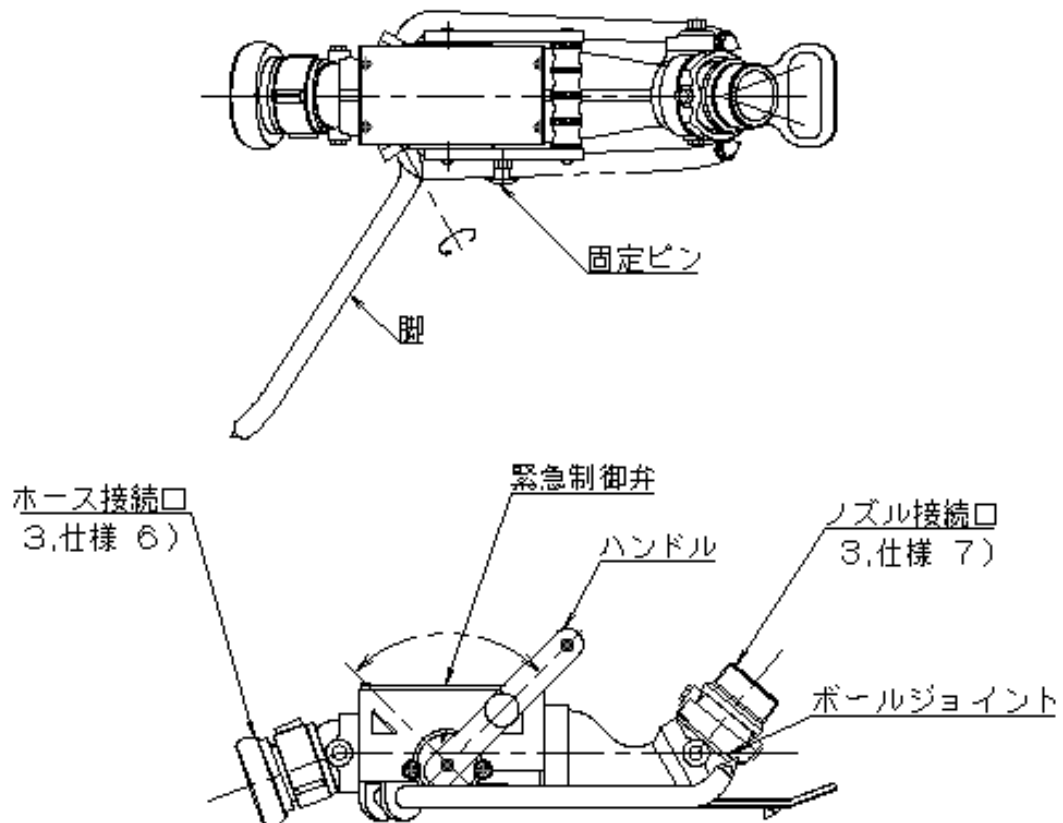


図 1

2) 機能

1. ホース接続口は 65 差込式メス金具となっています。
2. 上下方向の動作範囲は+10° ~ +50°、旋回方向の動作範囲は左右各 20° です。
3. 脚は持ち運び便利な様に折りたたみ式であり、又、脚の開閉ストップはスプリング式ロックピンが備わっています。
4. この機器のノズル推奨最大放水量は 1900L/min. です。但しこの場合、呼び 65 ホースライン 2 線が必要となります。

5. 使用方法

1) 脚の開閉

放水時は、脚は全開まで確実に行って下さい。脚が半開のままの状態では放水されると、本機器が転倒し非常に危険です。(全開時には脚用ロックピンが働きます。)

2) 上下旋回操作

上下旋回操作はモニター本体を直接手で回すことにより行い、ボールジョイント方式の為、角度が決まり手を離せばその位置で固定します。

3) 緊急制御弁の操作

固定ピンを引張りハンドルを後方に引けばロックされます。

ロック位置は 6 段階あり流量を制御出来ますが、通常は全開位置で使用します。

6. 注意事項

1) 保守・点検

1. 外観に損傷、緩み等のないことを確認して下さい。
2. 塗装剥げの箇所からの錆、腐食に注意し、必要とあれば再塗装を行って下さい。

2) 使用上の注意

ノズル接続口にノズル(管鎗)を確実に接続して下さい。結合が不具合のものは使用しないで下さい。

放水前には緊急制御弁の作動を確認して下さい。

放水前には必ず脚が全開状態かどうか確かめて下さい。

ホース接続口にホースを確実に接続して下さい。結合が不具合のものは使用しないで下さい。

放水場所が不安定な場合は放水銃の固定方法を考慮して下さい。

差込式受け金具の Oリングが取り付けられているか、劣化していないか点検して下さい。

劣化しているものを使用しますと漏水の原因になります。

使用後は清水で洗浄し、付着した土砂等を洗い流して下さい。

* 万一、不適切なご使用による事故等が発生しましても責任を負いかねます。

7. 追記

自動首振りモデルは図2に示す様に構成されています。

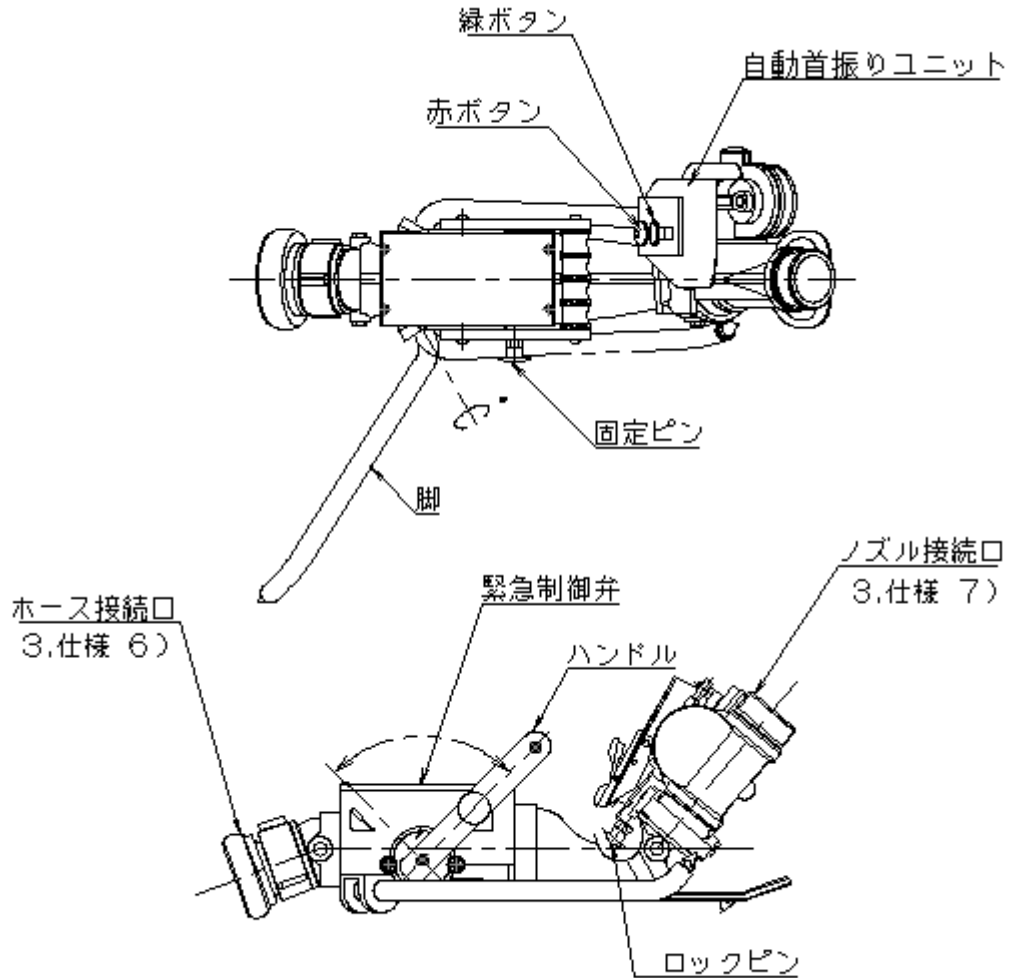


図2

1) 首振りモード（自動/手動）の切替

緑ボタンを押してノズルを少し左か右に回せばロックされ自動モードになります。
手動に変更する場合は、赤ボタンを押せばロック解除され手動モードになります。

2) 首振り角度（自動時）の変更

ロックピンを引張り、自動首振りユニット部を左か右に少しスライドさせて目盛（20°、30°、40°）に合せば、その表示された角度で放水銃は動きます。